

Q

インビザライン矯正は運動や楽器の演奏も可能ですか。

A

マウスピースを装着したままのコンタクトの強い運動は可能

インビザライン矯正で歯に付けるアタッチメント(白い突起)は小さいため、違和感が少なく口腔粘膜(口の中)を傷つけることはほとんどありません。また、矯正治療で装着するアライナー(マウスピース)は厚さ0.5ミリのなので、慣れてしまえば違和感は少ないようです(人によって異なります)。

そのため、インビザラインでの矯正治療中であつても柔道、空手、ラグビー、レスリングなどコンタクトの強い運動において、矯正装置で口腔粘膜を傷つけることは少ないので、多くの場合はアライナーを装着したままでの運動が可能です。通常のスポーツ用のマウスピースのように歯を守る能力はありませんが、歯を覆うので、ある程度の歯の保護にはなります。

楽器演奏においては、0.5ミリのマウスピースでも、口の繊細な感覚を必要とする楽器は、演奏に影響を及ぼす場合があります。また、歯が移動するとともに口の感覚が変化することによる影響はあります。このようなことを理解された上でのインビザラインでの矯正治療は可能です。また、演奏の時だけアライナーを外すことも可能ですが、装着時間が短くなるため、矯正治療の期間が少し長くなる場合があります。

歯並びや咬み合せを良くすることは、スポーツや楽器演奏においても大切なことです。しながら治療時期と治療装置に関しては専門医と相談されることが大切です。

回答医師 飛田 晴康 先生



飛田歯科医院 院長
1985年大阪歯科大学卒業。東京都港区、京都府園部町、神戸市東灘区の歯科医院勤務を経て、2005年より現職。



■ 岡山市北区広瀬町11-19
■ TEL.086-222-3194

U R L <http://www.tobitadc.jp/>